

第2章 高齢者を取り巻く状況

第1節 高齢者人口の推移

第1項 総人口と高齢者数の推移

2017（平成29）年10月1日現在、本市の人口は76,626人、65歳以上の高齢者人口は20,633人であり、高齢化率は26.9%となっています。また、75歳以上の後期高齢者数は10,128人であり、総人口の13.2%を占めています。総人口は、2006（平成18）年にピークとなり、その後減少し続けていますが、この傾向は今後も継続するものと予想されます。

なお、人口の推計にあたっては、須賀川市人口ビジョン（2017（平成29）年6月時点修正）を使用しました。その結果、2018（平成30）年度から2020年度までの計画期間における総人口は減少し続け、2020年は76,422人となる一方、65歳以上の高齢者人口は22,179人、高齢化率は、29.0%になると推計されます。

【総人口と高齢者数の推移】

(人口：人 高齢化率：%)

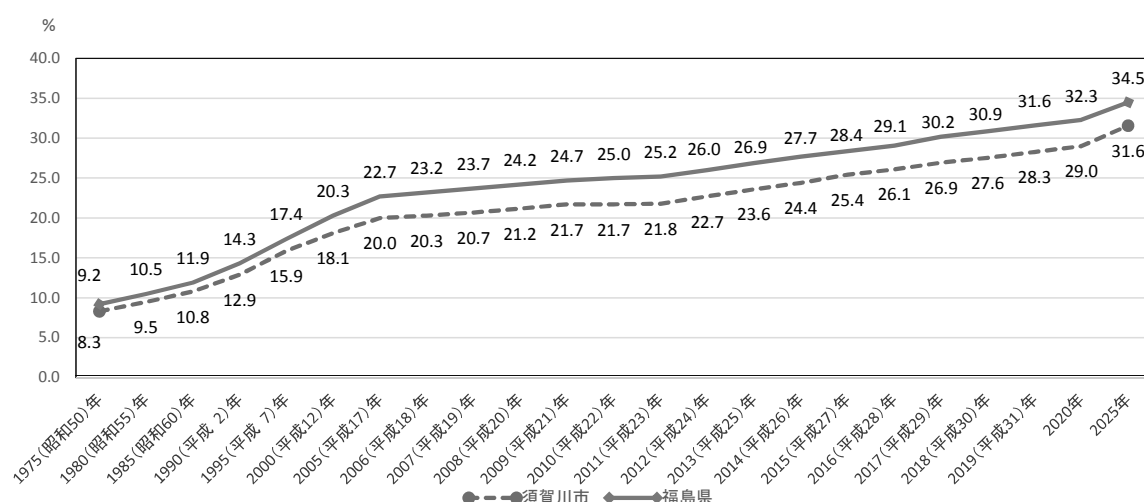
年	人口			高齢化率			
	総人口	65歳以上	75歳以上	65歳以上		75歳以上	
				須賀川市	福島県	須賀川市	福島県
1975 (昭和 50) 年	54,922	4,578	1,454	8.3	9.2	2.6	2.9
1980 (昭和 55) 年	57,110	5,416	1,851	9.5	10.5	3.2	3.6
1985 (昭和 60) 年	58,786	6,321	2,301	10.8	11.9	3.9	4.4
1990 (平成 2) 年	60,695	7,812	2,918	12.9	14.3	4.8	5.5
1995 (平成 7) 年	77,020	12,238	4,497	15.9	17.4	5.8	6.6
2000 (平成 12) 年	79,409	14,382	5,929	18.1	20.3	7.5	8.5
2005 (平成 17) 年	80,364	16,074	7,832	20.0	22.7	9.7	11.1
2006 (平成 18) 年	80,444	16,361	8,091	20.3	23.2	10.1	11.6
2007 (平成 19) 年	80,324	16,654	8,435	20.7	23.7	10.5	12.2
2008 (平成 20) 年	79,844	16,927	8,724	21.2	24.2	10.9	12.6
2009 (平成 21) 年	79,653	17,264	8,994	21.7	24.7	11.3	13.1
2010 (平成 22) 年	79,279	17,242	9,182	21.7	25.0	11.6	13.5
2011 (平成 23) 年	78,255	17,096	9,251	21.8	25.2	11.8	14.0
2012 (平成 24) 年	77,576	17,579	9,409	22.7	26.0	12.1	14.4
2013 (平成 25) 年	77,242	18,201	9,583	23.6	26.9	12.4	14.7
2014 (平成 26) 年	76,940	18,755	9,672	24.4	27.7	12.6	14.8
2015 (平成 27) 年	77,441	19,693	9,942	25.4	28.4	12.8	14.9
2016 (平成 28) 年	77,170	20,148	10,009	26.1	29.1	13.0	15.1
2017 (平成 29) 年	76,626	20,633	10,128	26.9	30.2	13.2	15.6
2018 (平成 30) 年	76,832	21,176	10,405	27.6	30.9	13.5	16.0
2019 (平成 31) 年	76,629	21,670	10,559	28.3	31.6	13.8	16.3
2020 年	76,422	22,179	10,717	29.0	32.3	14.0	16.7
2025 年	74,916	23,657	12,653	31.6	34.5	16.9	19.3

資料：国勢調査（1975 年～ 2015 年。1995 年及び 2000 年は、旧長沼町、旧岩瀬村含む。）
 本市現住人口調査（2006 年～ 2017 年の各年 10 月 1 日現在）
 福島県現住人口調査（2006 年～ 2017 年の各年 10 月 1 日現在）
 須賀川市人口ビジョンの基準推計をもとに 2015 年国勢調査人口で時点修正した推計人口
 （2018 年以降）
 国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口」（2013 年 3 月推計）

第 2 項 高齢化率の推移

本市の高齢化率は、旧長沼町及び旧岩瀬村と合併した 2005（平成 17）年に 20.0%となり、2017（平成 29）年には 26.9%と上昇しており、今後もこの傾向は続くものと予想されます。福島県と比較すると、高齢化率は 65 歳以上及び 75 歳以上のいずれにおいても下回っています。

【高齢化率の推移】



第2節 高齢者世帯の状況

第1項 高齢者世帯の推移

高齢化率の上昇に伴い、高齢者のいる世帯は毎年増加し、2000（平成12）年と2015（平成27）年の国勢調査の世帯数を比較すると29.9%増加しており、総世帯数に占める割合は47.9%となっています。

また、高齢者夫婦のみの世帯も1,230世帯から2,495世帯へと約2倍に増加しており、そのうち夫婦共に75歳以上の後期高齢者世帯は650世帯（26.0%）となっています。

【高齢者世帯の推移】

年	総世帯数	高齢者のいる世帯数			須賀川市			福島県		
		夫婦のみ世帯数	単独世帯数	高齢者のいる世帯割合	夫婦のみ世帯	単独世帯		夫婦のみ世帯	単独世帯	
1975 (昭和50)年	13,139	3,570	239	167	27.2%	6.7%	4.7%	27.8%	8.4%	5.2%
1980 (昭和55)年	14,306	4,163	376	245	29.1%	9.0%	5.9%	29.1%	10.4%	6.4%
1985 (昭和60)年	15,159	4,737	469	375	31.2%	9.9%	7.9%	31.9%	12.2%	8.0%
1990 (平成2)年	16,311	5,686	681	517	34.9%	12.0%	9.1%	35.2%	14.7%	9.8%
1995 (平成7)年	21,007	8,529	1,002	783	40.6%	11.7%	9.2%	38.7%	17.4%	11.4%
2000 (平成12)年	23,140	9,715	1,230	1,056	42.0%	12.7%	10.9%	41.7%	19.5%	13.5%
2005 (平成17)年	25,450	10,495	1,572	1,393	41.2%	15.0%	13.3%	43.9%	19.5%	16.0%
2010 (平成22)年	25,792	11,226	2,061	1,724	43.5%	18.4%	15.4%	45.5%	21.6%	18.2%
2015 (平成27)年	26,345	12,623	2,495	2,255	47.9%	19.8%	17.9%	47.4%	23.4%	22.2%

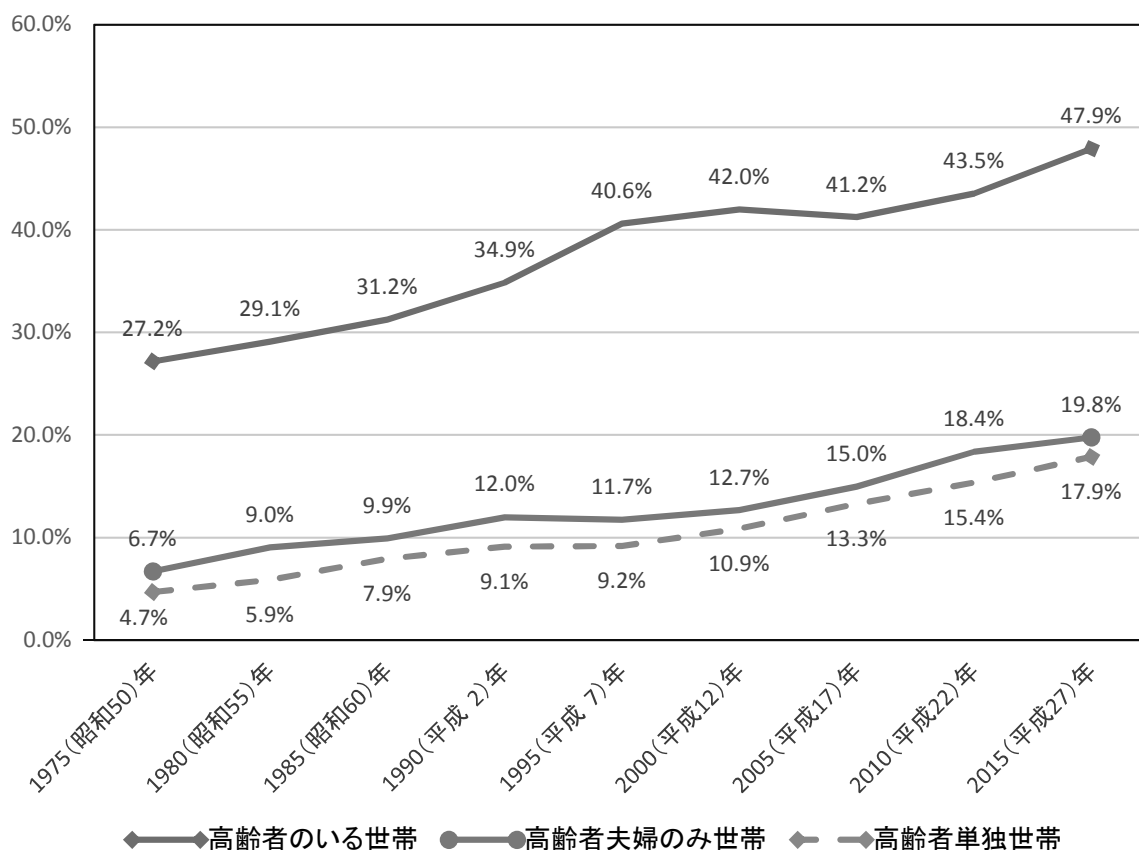
資料：国勢調査（1975年～2015年。1995年及び2000年は、旧長沼町、旧岩瀬村含む。）

第2項 高齢者単独世帯の推移

2000（平成12）年と2015（平成27）年の国勢調査を比較すると、高齢者単独世帯数は、1,056世帯から2,255世帯と2.1倍を超えて増加しています。

2015（平成27）年の2,255世帯のうち1,214世帯（53.8%）が後期高齢者で高い割合を占めるとともに、その7割が女性となっています。

【高齢者世帯の推移】



- ※ 「高齢者のいる世帯」は、総世帯数に占める「高齢者のいる世帯」の割合
- ※ 「高齢者夫婦のみ世帯」は、高齢者のいる世帯数に占める「高齢者夫婦のみ世帯」の割合
- ※ 「高齢者単独世帯」は、高齢者のいる世帯数に占める「高齢者単独世帯」の割合

第3節 要介護高齢者の状況

第1項 要介護認定者数

要介護認定者数は、高齢者の人口の増加に伴い年々増加傾向にあり、2017（平成29）年では全高齢者数の19.2%で、これを性別で見ると男性が12.6%、女性が24.2%となっています。

【要介護認定高齢者数の推移】

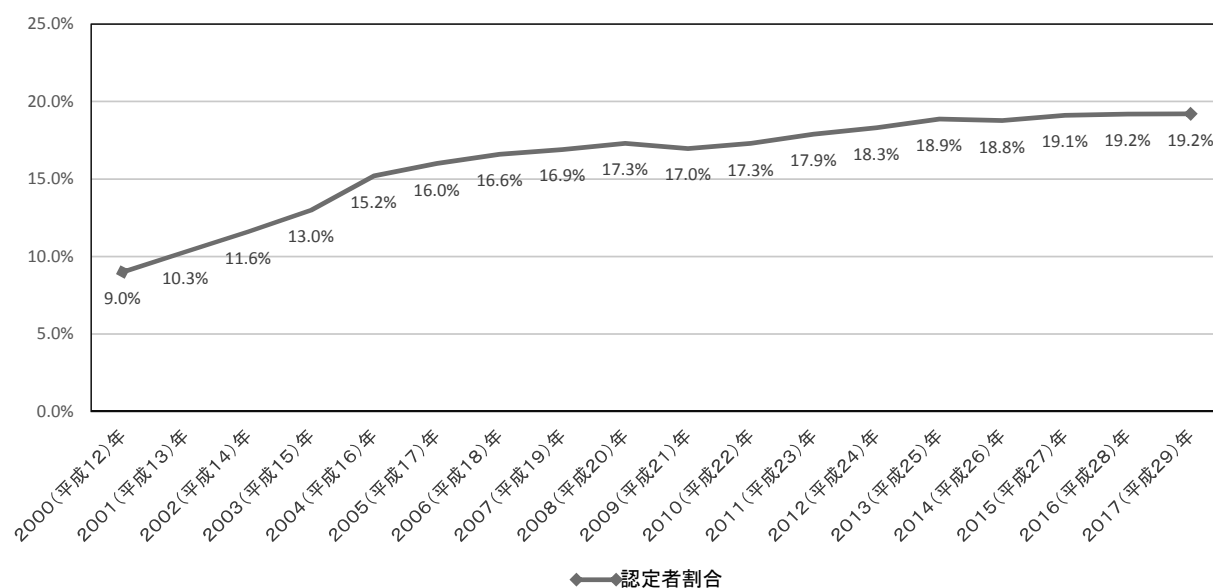
（単位：人）

年度	高齢者数			要介護認定者数			高齢者に占める割合			比率
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
2000(平成12)年	—	—	14,352	—	—	1,287	—	—	9.0%	100%
2001(平成13)年	—	—	14,724	—	—	1,520	—	—	10.3%	118.1%
2002(平成14)年	—	—	14,998	—	—	1,745	—	—	11.6%	135.6%
2003(平成15)年	—	—	15,442	—	—	2,015	—	—	13.0%	156.6%
2004(平成16)年	—	—	15,634	—	—	2,383	—	—	15.2%	185.2%
2005(平成17)年	—	—	15,862	—	—	2,539	—	—	16.0%	197.3%
2006(平成18)年	—	—	16,145	—	—	2,679	—	—	16.6%	208.2%
2007(平成19)年	—	—	16,429	—	—	2,773	—	—	16.9%	215.5%
2008(平成20)年	—	—	16,738	—	—	2,902	—	—	17.3%	225.5%
2009(平成21)年	6,990	10,079	17,069	814	2,082	2,896	11.6%	20.7%	17.0%	225.0%
2010(平成22)年	7,037	10,057	17,094	817	2,139	2,956	11.6%	21.3%	17.3%	229.7%
2011(平成23)年	7,003	9,960	16,963	833	2,203	3,036	11.9%	22.1%	17.9%	235.9%
2012(平成24)年	7,303	10,184	17,487	887	2,314	3,201	12.1%	22.7%	18.3%	248.7%
2013(平成25)年	7,651	10,458	18,109	964	2,453	3,417	12.6%	23.5%	18.9%	265.5%
2014(平成26)年	7,923	10,714	18,637	1,003	2,495	3,498	12.7%	23.3%	18.8%	271.8%
2015(平成27)年	8,246	11,045	19,291	1,064	2,623	3,687	12.9%	23.7%	19.1%	286.5%
2016(平成28)年	8,523	11,311	19,834	1,104	2,703	3,807	13.0%	23.9%	19.2%	295.8%
2017(平成29)年	8,782	11,539	20,321	1,108	2,795	3,903	12.6%	24.2%	19.2%	303.3%

（旧長沼町、旧岩瀬村含む。）

資料 住民基本台帳 介護保険事業報告 各年10月1日現在

【高齢者に占める認定者割合の推移】



第2項 要介護度認定状況

介護度別の認定者数は、介護保険制度が発足した2000（平成12）年と2017年（平成29）年を比較すると要支援、要介護いずれも増加しており、特に要介護1から要介護4までの件数が多くなっています。

【要介護高齢者の介護度別内訳】

（単位：人）

区分	計		要支援		要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		65歳未満 認定者
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
2000年	1,287	100%	149	100%					301	100%	230	100%	172	100%	214	100%	221	100%	
2001年	1,520	118%	175	117%					411	137%	249	108%	211	123%	219	102%	255	115%	
2002年	1,745	136%	191	128%					518	172%	280	122%	232	135%	255	119%	269	122%	
2003年	2,015	157%	179	120%					686	228%	312	136%	281	163%	276	129%	281	127%	
2004年	2,383	185%	215	144%					812	270%	371	161%	328	191%	335	157%	322	146%	
2005年	2,539	197%	269	181%					880	292%	371	161%	351	204%	360	168%	308	139%	
2006年	2,679	208%	155	104%	135	100%	216	100%	666	221%	431	187%	406	236%	334	156%	336	152%	
2007年	2,773	215%			233	173%	473	219%	385	128%	511	222%	437	254%	384	179%	350	158%	
2008年	2,902	225%			252	187%	470	218%	418	139%	503	219%	461	268%	406	190%	392	177%	
2009年	2,896	225%			235	174%	467	216%	428	142%	492	214%	438	255%	428	200%	408	185%	127
2010年	2,956	230%			303	224%	427	198%	523	174%	486	211%	426	248%	401	187%	390	176%	117
2011年	3,036	236%			313	232%	425	197%	580	193%	487	212%	439	255%	410	192%	382	173%	133
2012年	3,201	249%			290	215%	485	225%	609	202%	502	218%	453	263%	488	228%	374	169%	143
2013年	3,417	266%			278	206%	487	225%	683	227%	578	251%	498	290%	551	257%	342	155%	152
2014年	3,498	272%			262	194%	475	220%	681	226%	658	286%	525	305%	542	253%	355	161%	136
2015年	3,687	286%			259	192%	521	241%	701	233%	658	286%	572	333%	616	288%	360	163%	132
2016年	3,807	296%			291	216%	482	223%	793	263%	656	285%	613	356%	560	262%	400	181%	118
2017年	3,903	303%			330	244%	536	248%	783	260%	672	292%	614	357%	579	271%	369	167%	121

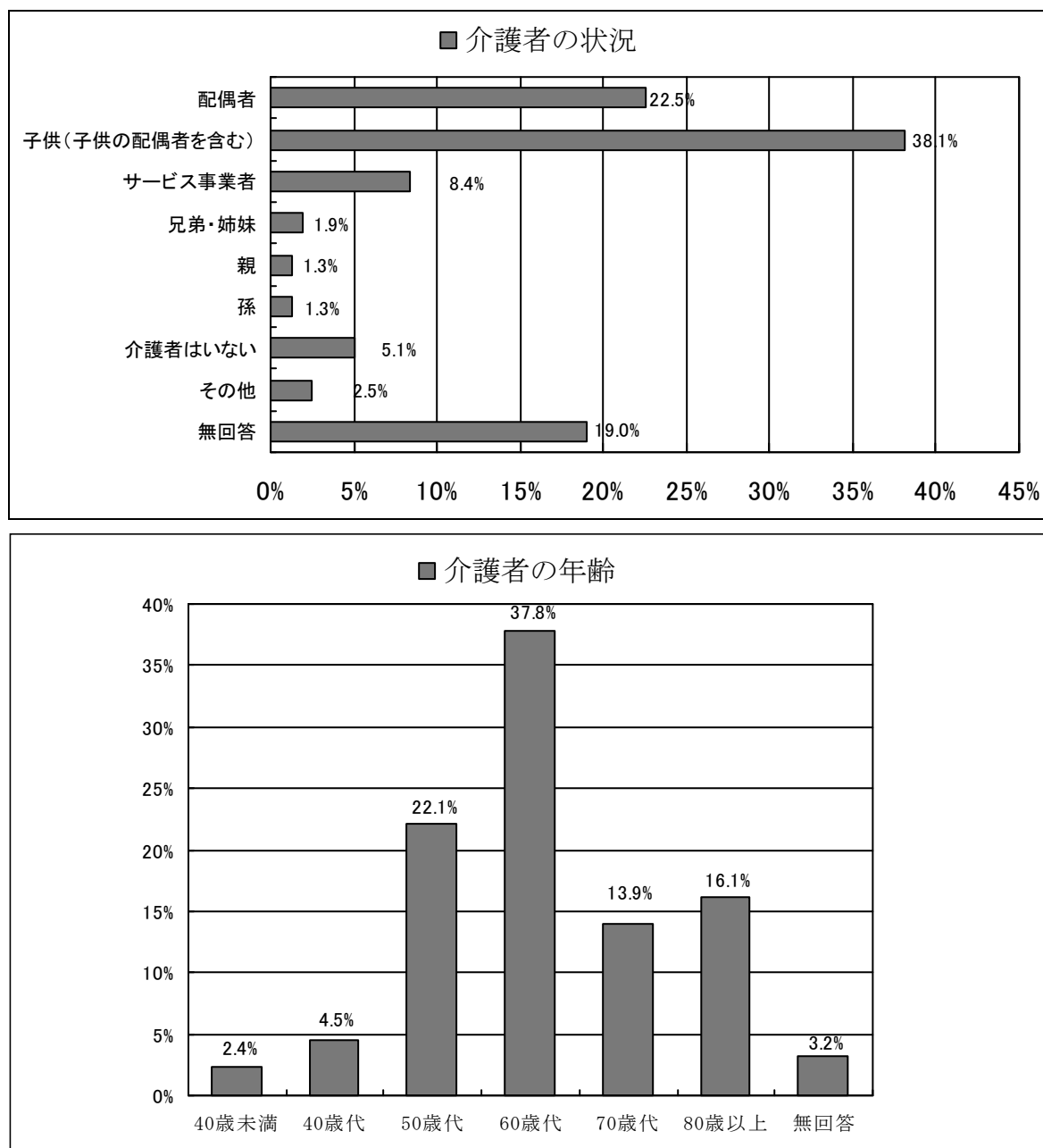
資料 福島県国民健康保険団体連合会「確定給付統計」 各年10月1日現在



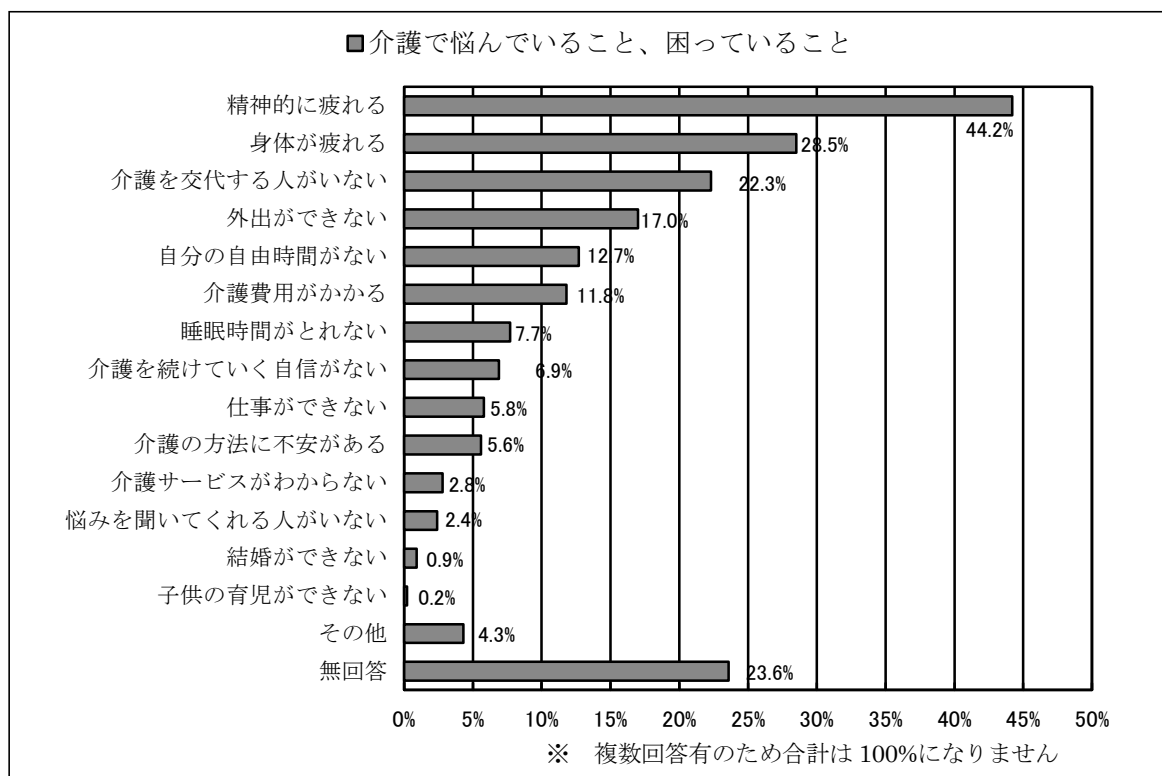
介護認定審査会

第3項 介護者の状況

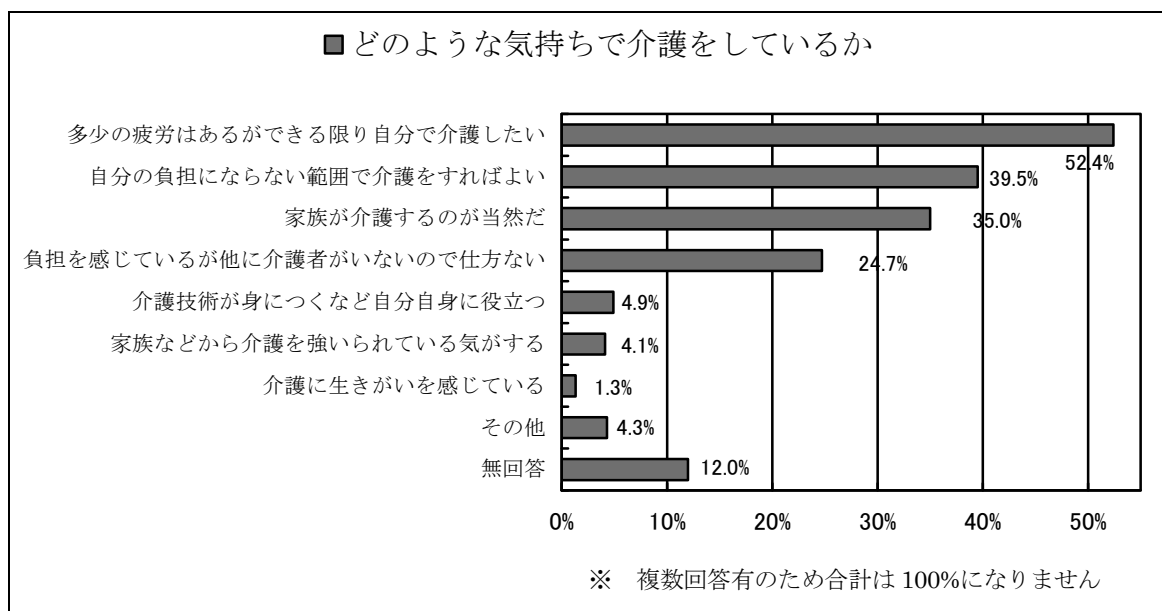
市民アンケートの結果によると、介護者は配偶者が22.5%、子供や子供の配偶者が38.1%となっています。介護者の年齢は60歳代が37.8%で最も多く、次に50歳代、80歳以上、70歳代の順で、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」が多くなっています。



また、介護者が介護で悩んでいることや困っていることについては、2014（平成26）年度の市民アンケート結果と同様に「精神的に疲れる」が44.2%で最も多く、次に「身体が疲れる」、「介護を交代する人がいない」の順であり、介護者が疲労を感じており、介護負担が大きいことをうかがい知ることができます。



どのような気持ちで介護しているかについては、「多少の疲労はあるが、できる限り自分で介護したい」が52.4%で最も多く、次に「自分の負担にならない範囲で介護をすればよい」、「家族が介護するのが当然だ」の順となっており、使命感を持って介護している方も多いことが分かります。



一方、「負担を感じているが他に介護者がいないので仕方ない」が前回調査時の 27.0% から 24.7% に減少しています。

第4節 日常生活圏域の設定

第1項 日常生活圏域設定の基本的な考え方

高齢者が介護の必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を送るためには、住み慣れた地域の身近なところに健康・医療・福祉・介護などのサービス基盤が整備され、高齢者のニーズに応じたサービスが提供されることが必要です。2006（平成18）年の介護保険制度改正により地域密着型サービスが創設され、地域におけるサービスの必要量を勘案するため、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件などを総合的に判断し、日常生活圏域を設定しています。

地域包括支援センターは、地区単位（9地区）の生活圏域を基本として市内に4か所設置されていますが、前計画策定時と比較し、施設整備や公共交通事情、地域コミュニティなど日常生活圏域に大きな変化はないことから、本計画においても前計画の設定を踏襲します。

【日常生活圏域別人口の高齢化率】

地区	①中央		②西部			③東部		④長沼・岩瀬	
	須賀川	浜田	西袋	稲田	仁井田	小塩江	大東	長沼	岩瀬
総人口	20,711	4,895	19,197	3,934	8,052	4,610	5,211	5,407	5,209
65歳以上	5,793	1,487	3,924	1,094	1,741	1,135	1,692	1,812	1,643
	28.0%	30.4%	20.4%	27.8%	21.6%	24.6%	32.5%	33.5%	31.5%
前期高齢者 (65～74歳)	2,797	774	2,224	603	957	607	838	848	793
	13.5%	15.8%	11.6%	15.3%	11.9%	13.2%	16.1%	15.7%	15.2%
後期高齢者 (75歳以上)	2,996	713	1,700	491	784	528	854	964	850
	14.5%	14.6%	8.9%	12.5%	9.7%	11.5%	16.4%	17.8%	16.3%

資料：住民基本台帳（2017（平成29）年10月1日現在）